

平成 29 年度第 2 回
平戸市総合戦略推進委員会

議 事 録

と き : 平成 30 年 3 月 27 日 (火) 9 : 55 ~ 11 : 55

と ころ : 平戸市役所 3 階会議室 A ・ B

開催日時	平成30年3月27日(火) 9:55~11:55
開催場所	平戸市役所3階会議室A・B
出席委員 (50音順、敬称略)	赤木径子、飯田善勝、竹田健介、田中範子、綱辰幸 豊増見喜雄、町田和正、松山芳弘、馬渡勇一、吉福弘実(10名)
欠席委員 (50音順、敬称略)	佐藤武郎、田上和利、寺田孝弘、西村拓也、吉田昭一郎(5名)
事務局 (財務部企画財政課)	吉住財務部長、小出企画財政課長、藤山企画統計班長 山口企画統計班主査、浦川企画統計班主任主事
次第	
1. 開会	
2. 副市長 あいさつ	町田副市長
3. 推進委員会 会長あいさつ	綱会長
4. 議題 (1)平戸管内における雇用状況等について	<p><江迎公共職業安定所 飯田所長説明></p> <p>全国の直近の雇用情勢は着実に改善が進んでいるということが公表されている。平成30年1月の完全失業率は2.4%となっており、この数値は平成5年4月以来の低い水準となっている。有効求人倍率については1.59倍となっており、昭和49年1月以来の高い数値となっている。こういった状況から、確実に景気は回復している状況にある。</p> <p>また、長崎県については平成30年1月の有効求人倍率は1.25倍で上昇ではあるものの、全国や九州内では低い位置にある。</p> <p>江迎所管内の有効求人倍率は1.42倍となっており、この数値は統計を開始して以来、最も大変高い数値となっている。</p> <p>平戸市の雇用状況については有効求人倍率が高い数値となっている。その一方で有効求職者が減少しており、就業する人が増えていることから、雇用情勢が改善されていると思われる。</p> <p>平成29年度における平戸市内の産業別求人で、一番多いのは「医</p>

	<p>療・福祉業」であり、次に「宿泊業・飲食サービス業」、「卸売・小売業」の順となっている。一方で製造業は少ない状況にある。今後の田平で造成されている工業団地による製造業関連の誘致に期待をしているところである。</p> <p>また、江迎管内の高校生の就職状況については100%に近いかたち内定を得ている状況にある。そのほか県内と県外での就職の割合では、29年度は県内が50%を超えることとなった。要因に高校1年生や2年生を対象として、早い段階から企業説明会の開催や平戸市が実施した、学校に企業を呼んで説明会を開催するなどの自治体の働きかけによるところが大きいと考えられる。</p> <p>今回、北松農業高校や平戸高校に就職説明会に出席させていただいたが地元就職を希望する人はほとんどいない状況であった。しかし、平戸市の求職状況は高い数値にあるので、若い人の地元就職のために積極的に働きかけをお願いしたい。</p> <p>全国ではさらに若い世代の小学生とその保護者に対して、地元の企業は知らせる活動を行っているところもある。そのなか、平戸市で小学生の職場体験をするイベントである「kids ジョブチャレンジ」が開催されると聞いたところだが、若い世代のうちから働く事の経験や地元の働く場所を知る良い機会だと思いました。ぜひ、このような体験イベントを続けてもらい、若い世代に地元の仕事に対する興味を植え付けてほしいと感じました。</p> <p>(2) 平戸市人口動態について (事務局説明) ●質疑・意見等なし</p> <p>(3) 平成29年度事業の進捗状況 (事務局説明) 基本目標毎に進捗状況及び新規事業を説明</p>
--	---

<p>及び平成 30 年 度新規事業等 について</p>	
<p>委 員</p>	<p>ふるさと納税について 30 年度に寄付を増やすためにどのような計画をしているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ふるさと納税の経過について説明いたします。昨年 4 月に総務省から、返礼品の還元率については一律 3 割にするように通達がありました。また、10 万以上の高額返礼品についても控えるようにと指導があったところです。これらの通達に対して平戸市は適切に応じたところです。しかしながら、他自治体では未だに 4 割を超える還元率の高い返礼品を揃えているところや 100 万以上の高額商品を揃えるなどしているところもあります。そのため、平戸市の今年度の寄付見込は 12 億円となっており、1 昨年度と比較すると、寄付額が減少した結果となっています。このようななか平成 30 年度は他の自治体も返礼品について 3 割にしていく動きがあるように聞いています。また、今年 10 月にカタログをリニューアルする際には現在、約 200 ある商品をさらに 80 品程度増やすように考えており、すでに関連事業所には新たな商品等について検討をお願いしているところです。その他に平戸市は創業支援に力を入れており、財源にはふるさと納税の寄付金を活用しています。この創業者のなかにも返礼品に新たな商品を提供するなどして、相乗効果に繋がっています。今後も平戸市のふるさと納税が魅力あるものとなるために様々な施策を展開していきたいと考えています。</p>
<p>委 員</p>	<p>6 ページの エ) 産業の育成と支援の KPI も 6 次産業化における支援者数について、対象は個人なのか企業のみなのか。また、目標値に 15 件としているが達成はできそうなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>個人経営や企業も対象になっています。進捗状況について、6 次産業</p>

	<p>化は設備投資に費用がかかるなどの理由により、件数が伸びていない状況です。今後は担当課と課題解決を図り、推進体制を強化していきたいと思えます</p>
委員	<p>総合戦略に掲げている数値目標やKPIにおいて、31年度までに達成が難しい項目はどれくらいあるのか。それについて対策はあるのか。</p>
事務局	<p>KPIの「空き店舗等を活用した新規開業件数」、「6次産業化における支援者数」の達成が難しいと思っている。空き店舗については家賃や店舗改修、立地等の要件により、進んでいない状況のため、目標達成が厳しいのではないかとと思っている。</p>
委員	<p>総合戦略は全国で一斉に策定をしているが、他の自治体と差別化している平戸市独自の政策は何ですか。</p>
事務局	<p>世界遺産登録を目指したところでの世界遺産を絡めた事業の推進を図っていくようにしています。また、平戸市のシンボルである平戸城の改修について集中的に行っていくようにしています。</p>
事務局	<p>どこも同じ時期に総合戦略を策定しているなかに差別化を図ることがとても重要なことだと思っています。しかしながら特に子育て支援にかかる補助等については他地区との競争となってしまう、財政力が弱い平戸市は厳しい状況にあるのが実情です。そのようななかですが平戸市は保育料について、子育て世代の負担軽減を図るために、ここ2年は支援に力を入れてきたところです。また、農業についても、農業の振興を図るために補助の上乗せなどによる就農支援や肉用牛等の独自の取組みを行っています。そのほかでは平戸市は観光が主な産業なので特に力を入れていきたいと考えています。</p>
委員	<p>平戸市は30歳以上の未婚者が多いように思われる。このことが人口</p>

<p>事務局</p>	<p>減少の一因となっていると考えるが、まちづくり協議会などと連携して、婚活などできないものなのか。</p> <p>実際にはほかのまちづくり協議会で婚活を行った実績があり、何組かのカップルが誕生したように聞いています。担当課やほかの協議会と連携を図りながら、実施に繋げていきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>新規事業の「高齢者いきいきおでかけ支援事業」について、事業内容で移動にかかるもので制限はあるのか。また、船代についても対象となるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>移動要件に制限はありません。また、船代についても対象にするようにしています。ただし、引き受ける事業所が対応できるかどうかになりますので、そこは確認する必要があるかと思います。大島の船については市の運営ですので対象となります。</p>
<p>(4)「平戸市未来創造羅針盤」(第2次平戸市総合計画)について</p>	<p>(事務局説明)</p> <p>第2次総合計画について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策体系 ・推進体制 ・重点プロジェクト <p>共通・基本プロジェクトとは別に重点プロジェクトとして「未来を担う人材創出プロジェクト」「もうける農林水産プロジェクト」「平戸観光地力向上プロジェクト」の3つのプロジェクトを掲げ、積極的に様々な施策を展開していくこととしています。</p>
<p>委員</p>	<p>総合戦略も含め、全体的なことにもなるのだが、女性の目線を活かす機会が少ないように感じる。移住においても、女性が能力を活用できるオフィスワークなどの職場の提供などが重要と思われる。</p>

委員	<p>基本方向の「生涯にわたる学習による人づくり」の基本施策「3 男女共同参画社会を実現する」とあるが、本日のような会議において、女性の参加が圧倒的に少ないと毎回、感じている。平戸市には能力の高い女性はたくさんいるので各種会議への参加の推進をお願いしたい。</p>
事務局	<p>総合計画を策定するに当たって、総合計画審議会を設置しました。委員の選定にあたっては、指摘がありましたように女性の意見を多く反映したいという思いもあり、関係団体へは女性委員の推薦をお願いしたところですが、しかしながら、各団体の意向もあり、21名のうち、女性委員は4名ということになりました。若い世代や女性の各種会議への参画は大変重要と思っているので、今後も積極的に参加してもらうように努めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>移住されてきた方の移住後のことについて把握はしているのか。また、移住者については平戸市がどのように映っているのかアンケートなどしてはどうか。</p>
事務局	<p>平成30年度の事業において、補助金を活用して転入してきた方や転出者に対して、どのような理由で転入、転出したのかアンケートを実施し、要因を分析し、今後の施策展開に反映させていきたいと考えています。</p>
(5) その他	
委員	<p>工業団地の整備について、誘致状況と今後どのような戦略をもって進めていこうとしているのか。</p>
事務局	<p>希望職種としては製造業等が望ましいと思っている。誘致についても受け入れにあたり、他の自治体との補助金等の競合があるが、柔軟に対応できるように補助関係の条例改正を3月議会で行ったところです。平戸市の地域性に合うような企業を誘致するため、現在は全国各地に営</p>

<p>事務局</p> <p>(6) 閉会</p>	<p>業活動を行っているところです。</p> <p>(吉住財務部長 お礼のあいさつ)</p> <p>今会議で委員の任期が終了し、平成 30 年度に改選となりますが、再任でお願いする場合もあろうかと思いますが、その際はよろしくお願ひします。</p> <p>(会議終了)</p>
--------------------------	---